

# 合唱ワークショップ (公開レッスン)

さあ、みんなで歌いましょう！

## 第1回

# バッハ g-moll ミサ その魅力と魔力

第1回目は今年、7月30日の『横浜合唱協会第66回定期演奏会』で演奏する J.S.バッハのg-mollミサをとりあげて、より深くその魅力と一緒に楽しもうと企画致しました。ぜひ気軽にいらしてみてください。いっしょに歌って、楽しみましょう！団員一同、ご来場をお待ちしています。(楽譜は当方で用意いたします。)

### <ワークショップの内容>

#### 1. バッハg-mollミサの仲間たち

鮮やかな新・旧様式(伝統的モテット vs コンチェルト)の対比、対照の「ラテン語ミサ組曲」の完成

#### 2. 対位法・フーガの主題の比較から見えてくるもの

伝統的ヘクサコルド、半音階、跳躍の多い器乐的な主題などの多彩な展開。「真正応答、調的応答」などが縦横に使われ、まさに「フーガの大家」の面目躍如！

#### 3. 原曲からの転用関係が示唆するもの

「ドイツ語カンタータ」から「ラテン語ミサ曲」に再編集、再配置した「後世への贈り物」

#### 4. 4曲からなるミサ曲集；その配列に物語が潜んでいる

Adur (待降) ⇒ Gdur (降誕) ⇒ gmoll (受難) ⇒ Fdur (復活)

カンタータから選曲し、再編集、再配置することによって、「無伴奏バイオリンソナタ」や「無伴奏チェロ組曲」、「インベンションとシンフォニア」等に匹敵する「合唱組曲」を創出

#### 5. 調性構成、調性展開 バッハ vs モーツァルト

「4つの小ミサ曲」全24曲中、合唱12曲はすべて主調(4つの調)、アリア12曲は近親調

(10の調) → 計14の調 = 「インベンションとシンフォニア」15調性とほぼ同じ → ★ b b b ~ # # # の範囲の全14の調性を使用

#### 6. g-mollの魅力と魔力 あなたも知ってるこの名曲！

バッハ時代：タルティーニ、パーセル

バッハ後：モーツァルト、ショパン、シューマン、ヴェルディ

合唱指導：山 神 健 志

ピアノ：谷 口 明 子

2016年 2月 20日 (土) 18:00~21:00

かなつくホール <神奈川区民文化センター>

JR京浜東北線 東神奈川 徒歩1分

主 催：横浜合唱協会 <http://www.ycs.gr.jp/>

お問合せ：Tel&Fax：045-894-3031 (ふじい)

第2回は、ヘンデル“Dixit Dominus”を取り上げる予定

2月26日 (土) 午後6時 吉野町市民プラザ

